



3月 しらほだい

令和2年3月2日(月)

校訓 やさしく かしく たくましく

「つくし」

内灘町立白帆台小学校 校長 岡田 秀



先だって2月21日に開かれた「しらっこ大感謝祭」。大勢の保護者の皆様と20名を超える防犯パトロール隊の皆様にお越しいただき、盛大で楽しくそして温かな会となりましたことを心から感謝申し上げます。子どもたちは、やはり多くの方々に見ていただくことで、自分のもっている精一杯の力を発揮するものですね。

めいっぱい可愛かった1年生の「ねずみの嫁入り」。大きな声で元気いっぱい、2年生の「おかえし」。美しいリコーダーでトップバッターを飾ったのは、3年生の「つぼみから花咲かせ」。かっこいいダンスとコミカルいっぱいの4年生の「笑ってミラクル9思い出ダンシング」。たっぷりのお笑いと6年生の思い出をどっさりつつめこんだのは、5年生の「伝えよう Tの想い」でした。また、会の運営も実に見事でした。

そして締めを飾った6年生の「友 ありがとう1～5年生」は、感謝の気持ちを込めた美しい歌声に感動させられました。更に、全校で歌った「ありがとう」は、卒業生と在校生が互いに思いを伝えあう、本当に心にしみる大合唱でした。

そんな中、三月の生活目標は「ありがとうのきもちをあらわそう」となっていました。1年間お世話になった教室への感謝、クラスの仲間への感謝、先生への感謝、防犯パトロール隊を始めとした地域の方々への感謝。そして、何よりも家族の皆さんへの大きな大きな感謝。そんなたくさんの感謝すべきことに気づき、その思いを伝える月でした。しかし、その三月の学校生活は、ほんの数時間しかありませんでした。

そこで、どうかそれぞれのご家庭でお願いしたいのです。卒業や進級を前にしての一年間を振り返って、身の回りの感謝すべきささやかなことについて、家庭での話題にあげてもらおうということ。放っておけば見過ごしてしまうような感謝にも、気持ちを傾けることができると、本当に心豊かな子の成長につながると思っていますから。

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、本日をもって3学期を終えなくてはいけなくなりました。子どもたちには、最後までしっかりと指導・支援してあげることができなかったことへのやるせなさ。そして、保護者の皆様方には、ご心配等をおかけすることに対しての申し訳なさ。今は、そんな思いがあふれ出るばかりです。

そんな折、昨日の日曜日、近所の公園に5cmほどのつくしが何本か生えているのを見つけ、しみじみと春を感じたところです。どうにもならないことを嘆くよりも、今限られた枠の中でもできることに精一杯力を注がなくてはいけない、そう言われたような気持ちになりました。



保護者の皆様や地域の皆様から頂いた、本校の教育活動へのこれまでの多大なるご支援とご協力に対して、心より感謝申し上げます。そして、新年度は、今年度以上に子どもたち一人ひとりにとって、自己存在感のある学校生活が送れるよう、教職員一同力を合わせていきたいと思っています。どうかよろしく願いいたします。